

D-Link DIS-100G シリーズ
Industrial Gigabit Unmanaged Switch

ユーザマニュアル



安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

 危険	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味

 してはいけない「**禁止**」内容です。  必ず実行していただく「**指示**」の内容です。

危険

- | | |
|--|---|
|  禁止
分解・改造をしない
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |  禁止
油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |
|  禁止
ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。 |  禁止
内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、故障の原因となります。 |
|  禁止
水をかけたり、ぬらしたりしない
内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。 |  禁止
砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。
また、砂などが付着した手で触れない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |
|  禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |  禁止
電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |
|  禁止
各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜く
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 | |

警告

- | | |
|--|--|
|  禁止
落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因となります。 |  指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |
|  禁止
発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない
感電、火災の原因となります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなつてから販売店に修理をご依頼ください。 |  禁止
カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない
素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。 |
|  禁止
表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障の原因となります。 |  指示
無線製品は病院内で使用する場合は、各医療機関の指示に従って使用する
電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。 |
|  禁止
たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。 |  禁止
本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない
火災、または故障の原因となります。 |
|  指示
設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障の原因となります。 |  指示
耳を本体から離してご使用ください
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。 |
|  禁止
雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
感電の原因となります。 |  指示
無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、販売業者に、電波による影響について確認の上使用する
医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。 |
|  禁止
ケーブル/コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障の原因となります。 |  指示
高精度な制御や微弱な信号を取り扱う
電子機器の近くでは使用しない
電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。 |
|  指示
本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを指定のコンセントに正しく接続して使用する
火災、感電、または故障の原因となります。 |  指示
ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、割れたガラスや露出した端末内部に注意する
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。 |
|  禁止
各光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。 |  指示
ペットなどが本機に噛みつかないように注意する
火災、やけど、けがなどの原因となります。 |
|  禁止
各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにする
火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。 |  禁止
コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させない
火災、やけど、感電または故障の原因となります。 |
|  禁止
使用中に布団で覆ったり、包んだりしない
火災、やけどまたは故障の原因となります。 |  禁止
AC アダプタや電源ケーブルに海外旅行用の変圧器等を使用しない
発火、発熱、感電または故障の原因となります。 |

警告

- !** ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** ACアダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
- !** 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
- !** 各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** 使用しない場合は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** お手入れの際は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 禁止** SD や MicroSD カード、USB メモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
- 禁止** 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
- !** ディーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使用しない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

注意

- 禁止** 乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
- !** 静電気注意
コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
- 禁止** コードを持って抜かない
コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
- 禁止** 振動が発生する場所では使用しない
故障の原因となります。
- !** 付属品の使用は取扱説明書に従う
本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
- 禁止** 破損したまま使用しない
火災、やけどまたはけがの原因となります。
- 禁止** ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない
落下して、けがなどの原因となります。
- 禁止** 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
- !** 本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることがあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
- 禁止** コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
- !** 一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用しない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
- 禁止** D-Link が指定したオプション品がある場合は、指定オプション品を使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- マニュアルなどに記載されている以外の方法での使用はやめてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- 付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本製品と周辺機器の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- やむなく延長コードや電源分岐回路を使用する場合においても、延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは、電源分岐回路の定格アンペア限界の 8 割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動から本製品を保護するためには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたり躓いたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルや電源プラグを改造しないでください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いておいてください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取り扱い説明書に従ってください。
- 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- 製品に貼られている製品ラベルや認証ラベルをはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

静電気障害を防止するために

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。

さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。
3. 静電気に敏感な機器の取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

電源の異常

万が一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源を抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源を再度接続します。

目次

安全にお使いいただくために.....	2
ご使用上の注意.....	4
静電気障害を防止するために.....	4
電源の異常.....	4
はじめに	6
本マニュアルの対象者.....	7
表記規則について.....	7
製品名 / 品番一覧.....	7
第 1 章 本製品のご利用にあたって	8
DIS-100G シリーズについて.....	8
サポートする機能.....	8
搭載ポート.....	9
外観について.....	9
前面 / 背面 / 上面パネル.....	9
LED 表示.....	11
第 2 章 機器の設置	12
パッケージの内容.....	12
ネットワーク接続前の準備.....	12
DIN レールへの設置.....	13
壁面への設置.....	15
アラームの取り付け (DIS-100G-5W/5SW のみ).....	16
製品の接地.....	17
接地に必要なツールと機器.....	17
DIP スイッチの設定.....	18
SFP モジュールの取り付け (DIS-100G-5SW/5PSW のみ).....	19
電源の投入.....	20
第 3 章 機器の接続	21
接続について.....	21
一般的な接続.....	21
PoE 接続.....	22
第 4 章 保証とテクニカルサポート	23
製品に関するお問い合わせについて.....	23
お問い合わせに必要な情報.....	23
個人情報のお取り扱い.....	23
日本国外での使用について.....	24
廃棄方法について.....	24
商標について.....	24
ご注意.....	24

はじめに

DIS-100G シリーズユーザマニュアルは、本製品のインストールおよび操作方法を記述しています。

第1章 本製品のご利用にあたって

- 製品の概要とその機能について説明します。また、前面および背面などの各パネルと LED 表示について説明します。

第2章 機器の設置

- DIS-100G の基本的な設置方法について説明します。

第3章 機器の接続

- DIS-100G の基本的な接続方法について説明します。

第4章 保証とテクニカルサポート

- DIS-100G の保証とテクニカルサポートについて説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、使用にあたっての注意事項について説明します。

警告 警告では、ネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

補足 補足では、特長や技術についての詳細情報について説明します。

参照 参照では、別項目での説明へ誘導します。

表 1 に、本マニュアル中での字体・記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」 ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に " (13 ページ) をご参照ください。

製品名 / 品番一覧

製品名	品番
DIS-100G-5W	DIS-100G-5W/A1
DIS-100G-5SW	DIS-100G-5SW/A1
DIS-100G-5PSW	DIS-100G-5PSW/A1

第 1 章 本製品のご利用にあたって

- DIS-100G シリーズについて
- サポートする機能
- 搭載ポート
- 外観について

DIS-100G シリーズについて

DIS-100G シリーズは、工場などで必要となる環境要件を備えた産業用ギガビットアンマネージドスイッチです。DIN レールや壁面への設置に対応しており、また耐熱性も -40 ~ 75℃（動作時）をカバーしているため、工場内等のエッジ環境での利用に最適です。全機種ギガビットポートを実装しており、DIS-100G-5SW/5PSW は SFP スロット ×1 を搭載、さらに DIS-100G-5PSW は 4 ポートが IEEE 802.3af/at 準拠の PoE+ 給電に対応しています。IEEE 802.1p QoS、IEEE 802.3x フローコントロール、オートネゴシエーション、Auto MDI/MDI-X、ジャンボフレームにも対応しており、様々な環境で安定したネットワーク環境を提供することができます。

厳しい環境下での高い信頼性

IP30 保護等級のメタル筐体を採用、動作温度 -40~75℃を達成するなど信頼性の高い設計になっています。また、ファンレス設計により、粉塵の吸い込みによる故障のリスクを軽減することができます。

既存産業ネットワークへの簡単な導入

壁面への設置に加え、DIN レールへの簡単な設置が可能となっています。電源には冗長化可能な 2 系統の DC ターミナルブロックを搭載しています。

IEEE 802.1p QoS をサポート

パケットの優先順位を検出して、優先順位の高いデータの配送遅延を防止する、IEEE 802.1p プライオリティキューに対応しています。

IEEE 802.3x フローコントロールをサポート

全ポートがフロー制御に対応しているため、破棄されるパケットが減少します。これにより再送要求による不要なトラフィックの増加を抑え、実効転送速度が向上します。

全ポートオートネゴシエーション機能搭載

全ポートが通信速度や全二重 / 半二重を自動認識。ギガビット通信時には全二重で最大 2000Mbps が可能となり、サーバアクセスなどのネットワーク上のボトルネックを解消して、快適なパフォーマンスを提供します。

サポートする機能

- 全ポート Gigabit Ethernet (10/100/1000Mbps)
- IEEE 802.3af/at PoE/PoE+ 給電 (DIS-100G-5PSW)
- Auto MDI/MDI-X 機能搭載
- オートネゴシエーション (10/100/1000Mbps、全二重 / 半二重)
- IEEE 802.3x Flow Control (全二重時)
- スイッチング方式：ストア&フォワード
- ジャンボフレーム対応
- IEEE 802.1p ベース QoS
- DIN レール設置
- アラームポート搭載 (DIS-100G-5W/5SW)
- RoHS 指令対応

搭載ポート

以下のポートを搭載しています。

DIS-100G-5W

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート x 5

DIS-100G-5SW

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート x 4
- SFP スロット x 1

DIS-100G-5PSW

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート x 4 (PoE ポート x4)
- SFP スロット x 1

外観について

前面 / 背面 / 上面パネル

DIS-100G-5W

前面には、ポートと P1/P2 (電源)、ALM (アラーム)、ポートの Link/Act の状態を表示する LED を搭載しています。[「LED 表示」](#)の項で詳細の動作について説明します。背面には DIN レールブラケット設置穴、壁面取り付けキット設置穴があります (図は DIN レールブラケット設置済み)。上面には DC 電源コネクタ、アラームポート、接地コネクタ、DIP スイッチがあります。



図 1-1 DIS-100G-5W の前面 / 背面 / 上面

DIS-100G-5SW

前面には、ポートと SFP スロット、P1/P2（電源）、ALM（アラーム）、ポート / スロットの Link/Act の状態を表示する LED を搭載しています。[「LED 表示」](#)の項で詳細の動作について説明します。背面には DIN レールブラケット設置穴、壁面取り付けキット設置穴があります（図は DIN レールブラケット設置済み）。上面には DC 電源コネクタ、アラームポート、接地コネクタ、DIP スイッチがあります。



図 1-2 DIS-100G-5SW の前面 / 背面 / 上面

DIS-100G-5PSW

前面には、ポート（PoE）と SFP スロット、P1/P2（電源）、ポート / スロットの Link/Act の状態を表示する LED を搭載しています。[「LED 表示」](#)の項で詳細の動作について説明します。背面には DIN レールブラケット設置穴、壁面取り付けキット設置穴があります（図は DIN レールブラケット設置済み）。上面には DC 電源コネクタ、接地コネクタ、DIP スイッチがあります。

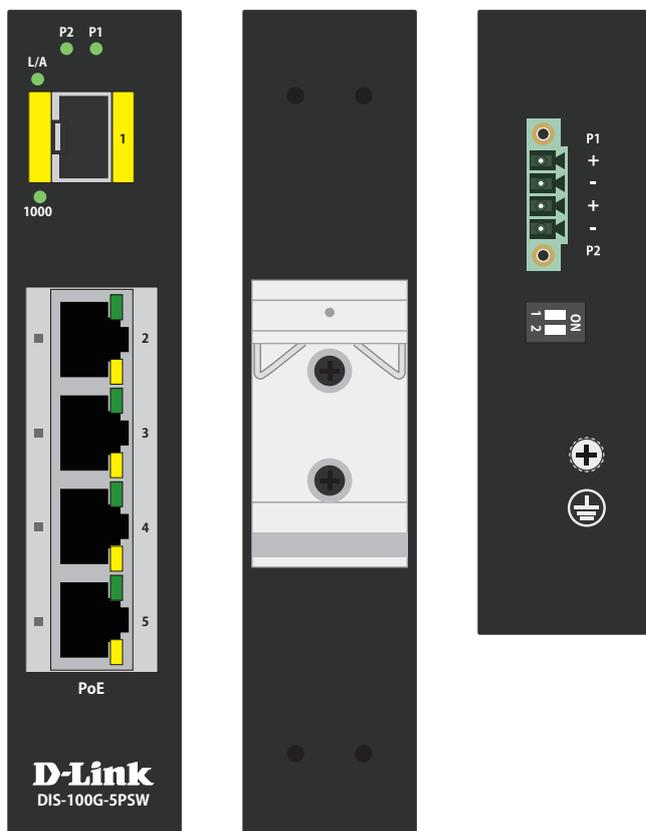


図 1-3 DIS-100G-5PSW の前面 / 背面 / 上面

LED 表示

Power、アラーム (5W/5SW)、PoE (5PSW)、ポートの Link/Act/Speed の状態を表示する LED を搭載しています。

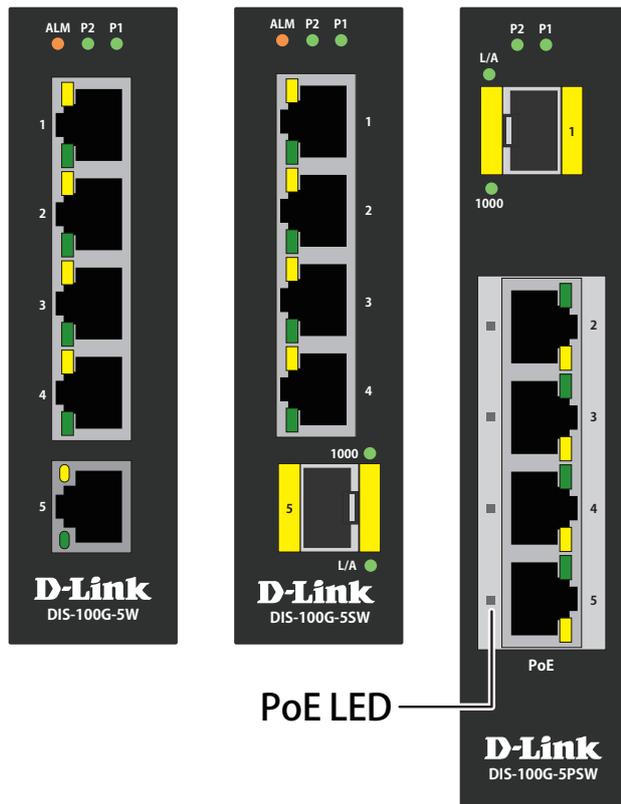


図 1-4 DIS-100G シリーズの LED 配置図

以下の表にスイッチの LED の状態が意味するスイッチの状態を示します。

LED	状態	色	内容
P1/P2	点灯	緑	P1/P2 電源が供給され正常に動作しています。
	消灯	—	P1/P2 の電源コードが接続していない、あるいは電源の供給が行われていません。
ALM (DGS-100G-5W/5SW のみ)	点灯	赤	電源に不具合が生じアラームが発生しています。
	消灯	—	正常に動作しています。
PoE (DGS-100G-5PSW のみ)	点灯	緑	PoE デバイスに電力が供給され正常に動作しています。
	消灯	—	PoE デバイスに電力が供給されていません。
ポート 1-5 (DGS-100G-5W) ポート 1-4 (DGS-100G-5SW/5PSW)			
Link/Act (ポート LED/ 緑)	点灯	緑	リンクが確立しています。
	点滅	緑	データを送受信しています。
	消灯	—	リンクが確立していません。
Speed (ポート LED/ 黄)	点灯	黄	1000Mbps でリンクが確立しています。
	消灯	—	リンクが確立していません。または 10/100Mbps でリンクが確立しています。
SFP スロット (DGS-100G-5SW/5PSW のみ)			
L/A (Link/Act・SFP)	点灯	緑	リンクが確立しています。
	消灯	—	リンクが確立していません。
1000 (Speed・SFP)	点灯	黄	1000Mbps でリンクが確立しています。
	消灯	—	リンクが確立していません。または 100Mbps でリンクが確立しています。

第2章 機器の設置

- パッケージの内容
- ネットワーク接続前の準備
- DIN レールへの設置
- 壁面への設置
- アラームの取り付け (DIS-100G-5W/5SW のみ)
- 製品の接地
- DIP スイッチの設定
- SFP モジュールの取り付け (DIS-100G-5SW/5PSW のみ)
- 電源の投入

パッケージの内容

ご購入いただいたスイッチの梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- ・ 本体
- ・ DC ターミナルブロック
- ・ DIN レールブラケット
- ・ 壁面取り付けキット
- ・ マニュアル
- ・ シリアルラベル
- ・ PL シート

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入頂いた販売代理店までご連絡ください。

ネットワーク接続前の準備

スイッチの設置場所が性能に大きな影響を与えます。以下のガイドラインに従って本製品を設置してください。

- ・ スイッチの上に重いものを置かないでください。
- ・ 電源がしっかり差し込まれているか確認してください。
- ・ スイッチは動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる場所に設置してください。
- ・ スイッチは強い電磁場が発生するような場所（モータの周囲など）や、振動、ほこり、および直射日光を避けて設置してください。
- ・ 本スイッチ上に他の機器を積み重ねて設置することは行わないで下さい。

DIN レールへの設置

DIS-100G シリーズは機器の背面に付属の DIN レールブラケットを取り付けることにより、DIN レールへの設置が可能です。DIN レールへの設置には以下の手順を参照してください。

1. DIN レールブラケットを付属のネジを使用して、製品の背面中央にある DIN レールブラケット設置穴に取り付けます。

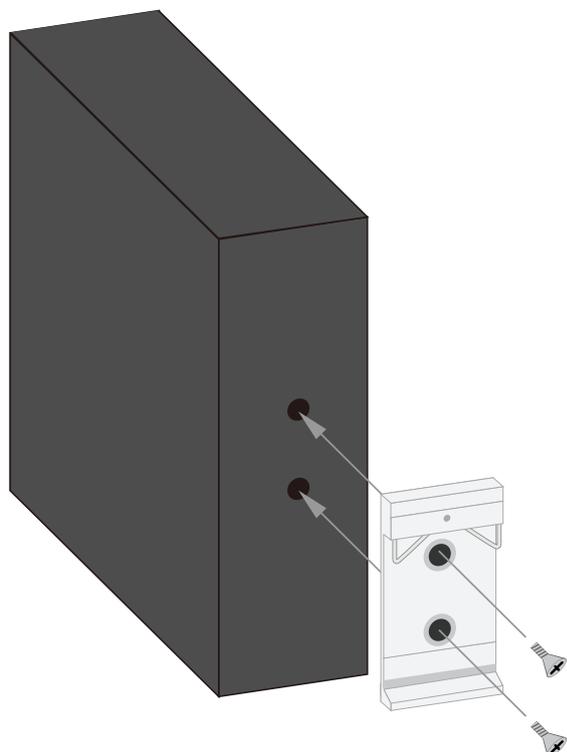


図 2-1 DIN レールブラケットの取り付け

2. 次の図を参考に DIN レールにブラケットを引っ掛け、製品下部を押し込むようにして設置します。

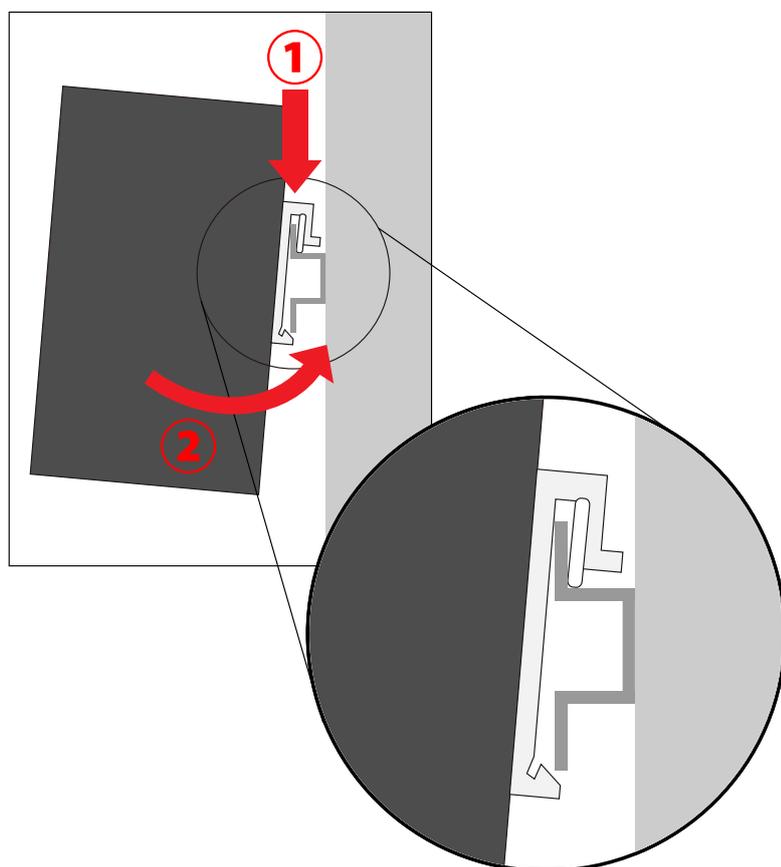


図 2-2 DIN レールへの設置

3. 製品が DIN レールブラケットにしっかり設置されていることを確認します。

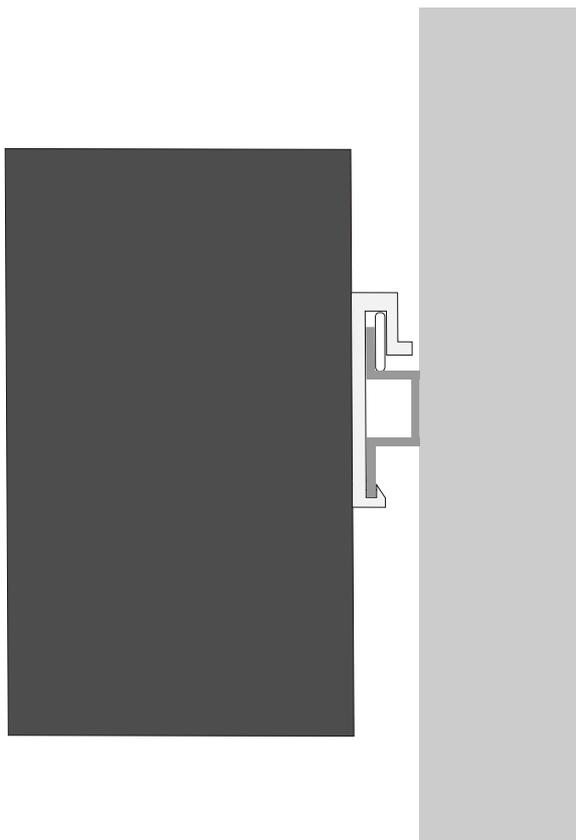


図 2-3 DIN レールへの設置確認

壁面への設置

付属の壁面取り付けキットを利用して壁面に設置することも可能です。以下の手順で壁面に設置します。

警告 本製品を壁面に設置する際は、本製品の重さや壁面の強度、材質などを勘案し、落下などに十分注意した上で設置してください。

1. 壁面取り付けプレートを付属のネジで本製品に取り付けます。

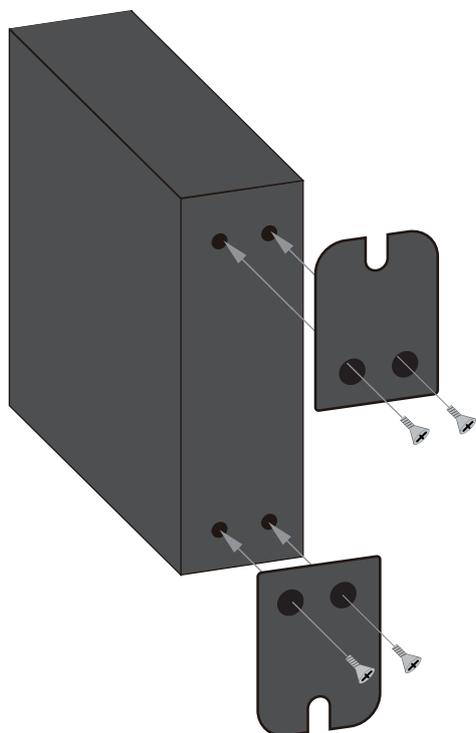


図 2-4 壁面取り付けプレートの取り付け

2. プレートを取り付けした製品背面を壁に合わせ、プレートのネジ受け ×2 にネジ（M4/ 非同梱）を使用して壁面に設置します。プレートの壁面設置ネジの間隔は次の通り（131.2mm（5W/5SW）、151mm（5PSW））です。

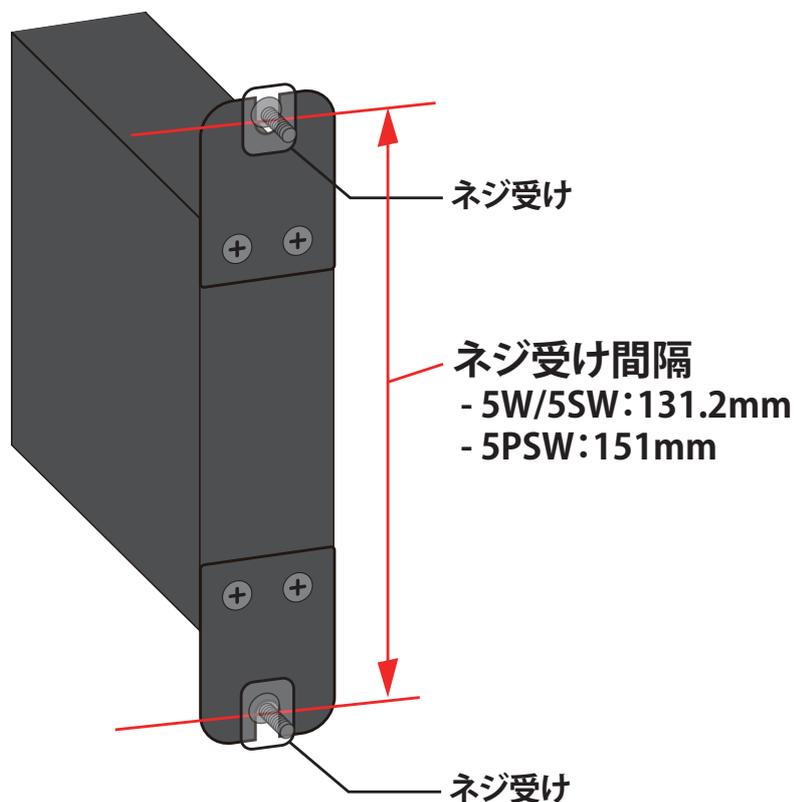


図 2-5 壁面への設置

注意 壁面設置に使用するネジ（非同梱）は M4 サイズのものを、壁面の材質、環境に合わせてご使用ください。

アラームの取り付け (DIS-100G-5W/5SW のみ)

本製品へのアラームの取り付けには DC ターミナルブロックを使用します。アラームを接続するアラームポートは DC 電源コネクタ (DC ターミナルブロック) の中央二つになります。

1. DC ターミナルブロック接続端子部分のネジを緩め、アラーム線接続部にアラームのリード線を挿入します。
2. ネジを締め直し、DC ターミナルブロックを製品の DC 電源コネクタに接続します。
3. DIP スイッチの「ポートアラーム」を「ON」にするとアラームの作動が可能になります。

アラームの作動が可能になるとリレー出力アラームはポートの不具合や短絡を検知して作動するようになります。本製品のアラームリレー出力は「Normal Open (NO) / ノーマルオープン」になります。

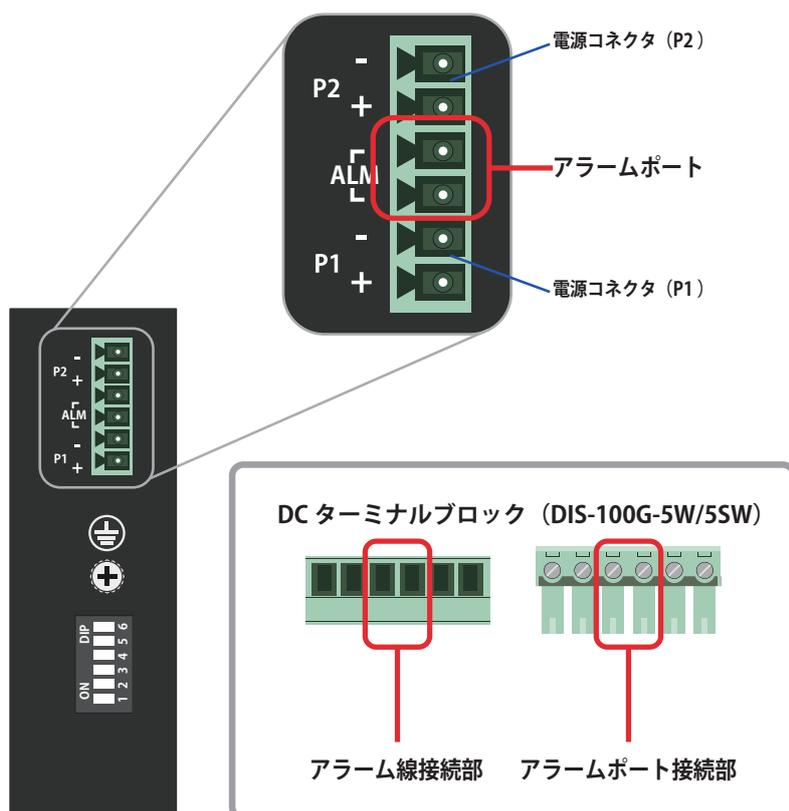


図 2-6 アラームポート

注意 DC ターミナルブロックを使用した電源の投入方法については「[電源の投入](#)」を参照ください。

注意 使用するアラームの詳しい設定方法についてはご購入のアラームの説明書をご確認ください。

製品の接地

本製品を接地する方法について説明します。

注意 電源を投入する前に、本手順を完了する必要があります。

注意 本製品の接地は、接地抵抗についての専門的な知識と技能を有する資格保持者により実施してください。

接地に必要なツールと機器

- ・ 接地用ネジ（製品背面に付属のネジ）
- ・ 接地線（製品には付属されていません。）
- ・ プラスドライバー（製品には付属されていません。ネジの大きさに合ったものをご使用ください。）

注意 接地線は国の各国の設置条件に従ったサイズ/形状を選択します。また接地線の長さは接地環境（接地基準点とスイッチの距離など）を考慮し選択します。

以下の手順でスイッチを保安用接地に接続します。

1. スwitchの電源が投入されていないことを確認します。
2. プラスドライバーを使用し、接地用ネジを取り外します。
3. 開いた状態の接地ネジ穴の上に、接地線（接地ケーブル）のリング型ラグ端子を置き、装着します。
4. 接地ネジ穴に接地用ネジを挿入します。
5. ドライバを使用して接地用ネジをしめて、スイッチに接地線（接地ケーブル）を固定します。
6. 適切な設置スタッドやボルトなどの電位基準点に、接地線のもう一端のリング型ラグ端子を取り付けます。
7. スwitchと接地線の接続がしっかりと行われていることを確認します。

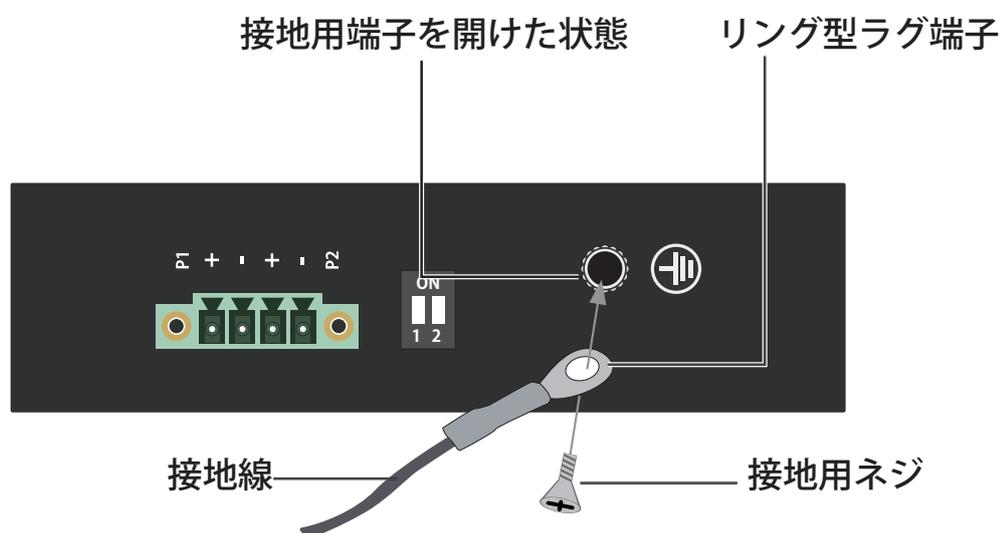


図 2-7 スwitchへのラグ端子の接地

DIP スイッチの設定

本製品は DIP スイッチにより設定を行うことが可能です。

DIS-100G-5W/5SW

DIS-100G-5PSW

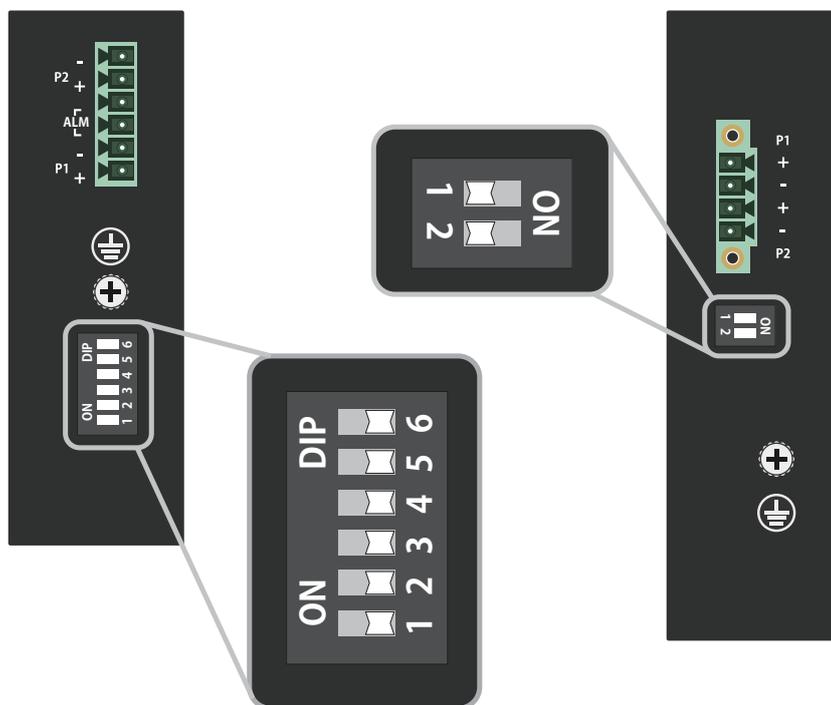


図 2-8 DIP スイッチ

以下の表に DIP スイッチの設定について説明します。

PIN 番号	状態	DIS-100G-5W/5SW	DIS-100G-5PSW
Pin 1	ON	電源アラームの有効化	ブロードキャストストームレートリミットの有効化
	OFF	電源アラームの無効化	ブロードキャストストームレートリミットの無効化
Pin 2	ON	ブロードキャストストームレートリミットの有効化	—
	OFF	ブロードキャストストームレートリミットの無効化	—
Pin 3 - 6	ON	—	—
	OFF	—	—

SFP モジュールの取り付け (DIS-100G-5SW/5PSW のみ)

DIS-100G-5SW/5PSW は、前面パネルに SFP モジュール用スロットを装備しており、対応する SFP モジュールを取り付けることが可能です。

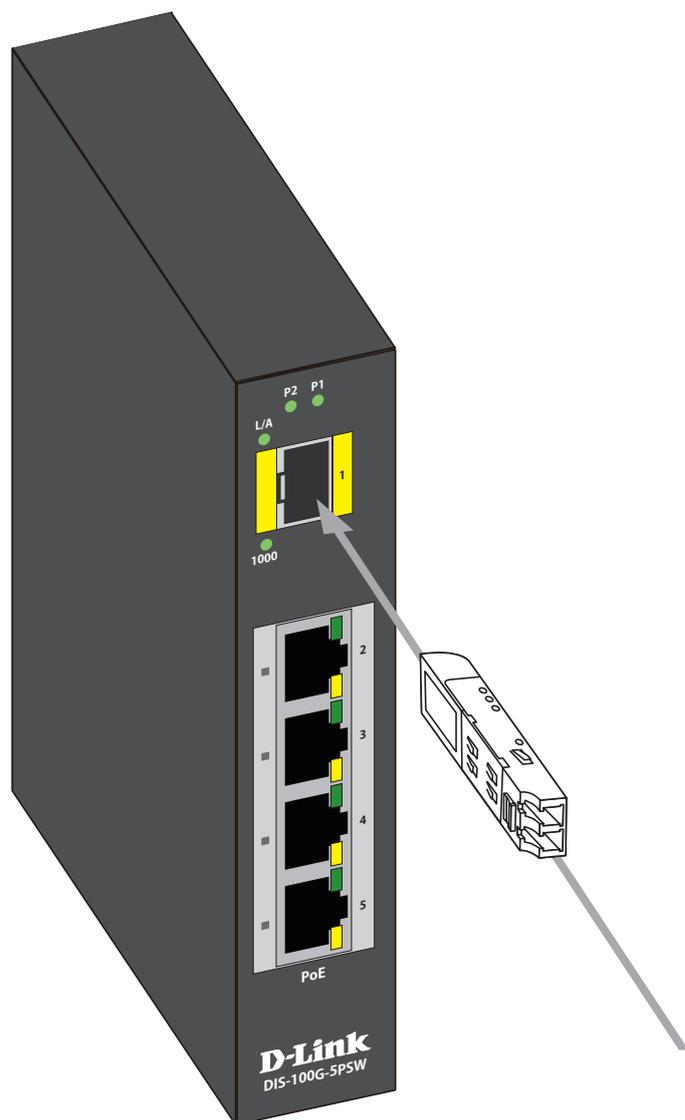


図 2-9 SFP モジュールの取り付け

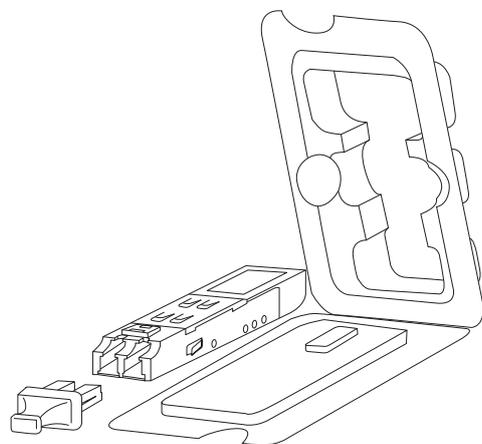


図 2-10 SFP モジュール図

注意

対応する SFP モジュールについては弊社 Web サイトの製品情報をご確認ください。

電源の投入

本製品の DC 電源への接続について説明します。

本製品の DC 電源コネクタにはマイナス / プラス端子 (P1/P2) とアラームポート (DIS-100G-5W/5SW のみ) があります。付属する DC ターミナルブロックにはそれぞれの端子、ポートに対応する接続部があり、そこに DC 電源ケーブル / アラーム線を接続します。アラームの取り付けについては「アラームの取り付け (DIS-100G-5W/5SW のみ)」を参照ください。

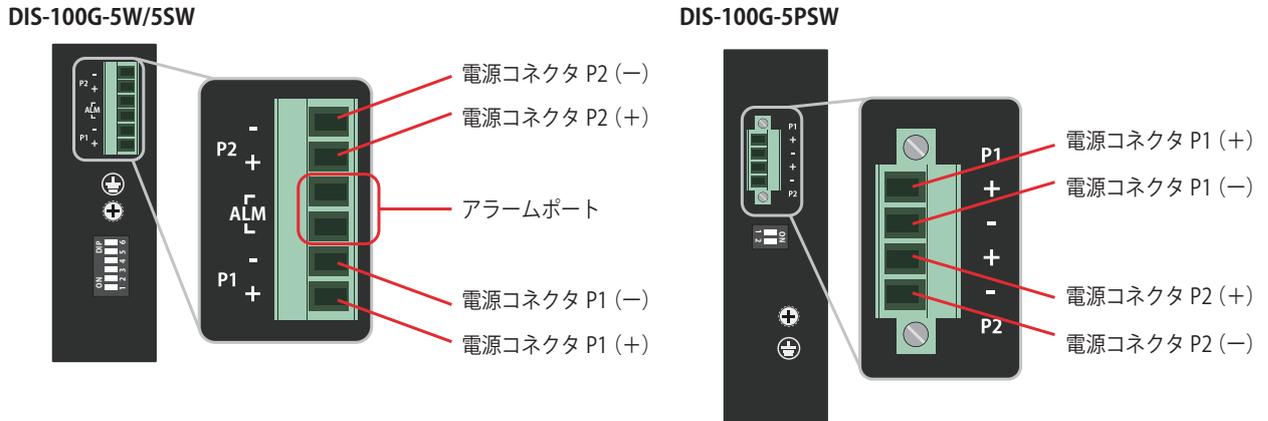


図 2-11 DC 電源コネクタ (DC ターミナルブロック接続時)

1. マイナスドライバーを使用して、DC ターミナルブロックの接続端子部分のネジを緩めます。

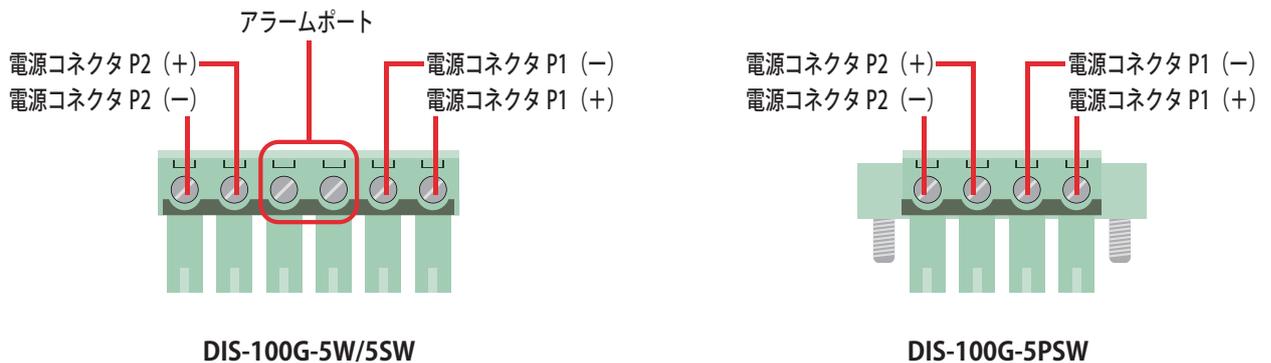


図 2-12 DC ターミナルブロックの接続端子部のネジと対応するコネクタ / ポート

2. DC ターミナルブロックのマイナス端子、プラス端子に接続する DC 電源ケーブルを挿し込み、再度ネジを締め直します。

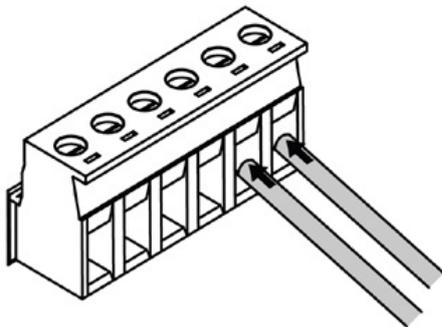


図 2-13 DC 電源ケーブル挿し込み

3. DC 電源ケーブル (アラーム線) を挿し込んだ DC ターミナルブロックを、本製品の DC 電源コネクタに取り付けます。

注意 すべての電気配線が、お住まいの地域、および国の電気基準と規制に準拠していることを確認してください。

注意 資格を持つ電気工事が、DC 電源への接続を行う必要があります。

注意 DIS-100G-5W/5SW の DC ターミナルブロック (DC 電源コネクタ) にはアラーム線の接続部 (アラームポート) があります。DC 電源ケーブル / アラーム線の接続の際には接続箇所にご注意ください。詳しくは「アラームの取り付け (DIS-100G-5W/5SW のみ)」を参照ください。

第3章 機器の接続

- 接続について
- 一般的な接続
- PoE 接続

接続について

1. 本製品のネットワークポートに、LAN ケーブルを接続します。

10/100/1000M ポートはポートオートネゴシエーション機能搭載で 10/100/1000Mbps を自動的に判別して通信します。また、ケーブルの種類(ストレート/クロス) も自動的に判別します。

2. 接続先の機器に LAN ケーブルのもう一方を接続します。
3. 付属の電源ケーブルを本製品に接続します。正しく接続されている場合は、接続しているポートのランプが点灯します。

以上で接続は完了です。

一般的な接続

PC やルータなどのイーサネットポートに接続してください。エンドノード（末端機器）への接続ポートはスイッチのどのポートでも構いません。

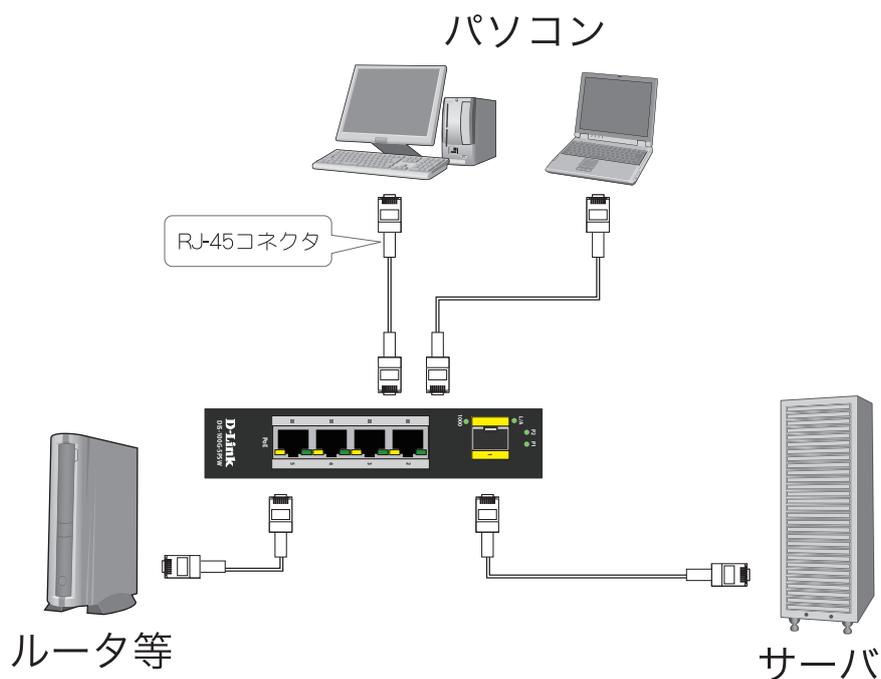


図 3-1 一般的な接続

正常に接続されるとポート LED が緑に点灯します。

PoE 接続

DIS-100G-5PSW は4ポートに PoE 機能を搭載しており、最大 30w の電力を IEEE 802.3af/at 準拠の PoE 対応機器に供給することが可能です。これによりネットワーク内での余計な電源ケーブルの配線をなくし、安全で簡素なネットワークを構築することが可能です。

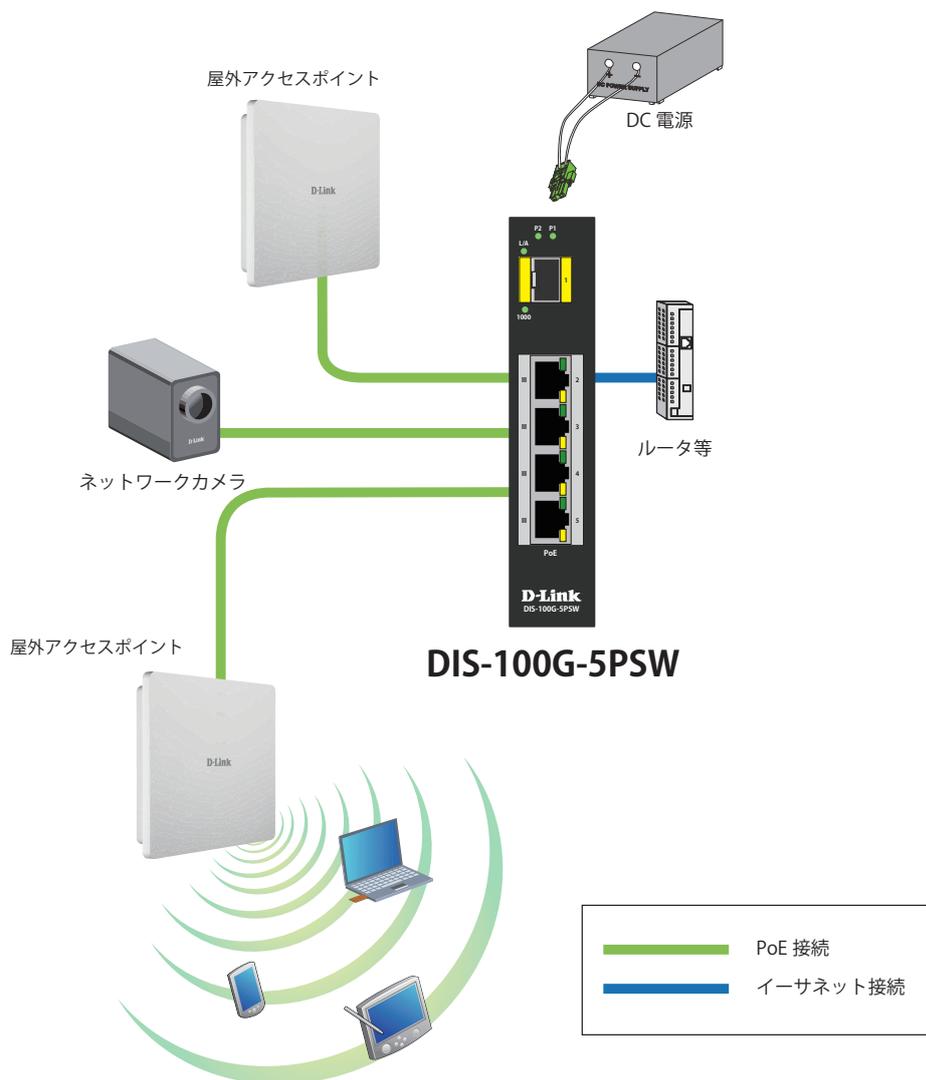


図 3-3 PoE 接続

第4章 保証とテクニカルサポート

- 製品に関するお問い合わせについて
- お問い合わせに必要な情報
- 個人情報のお取り扱い
- 日本国外での使用について
- 廃棄方法について
- 商標について
- ご注意

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、ご購入頂いた販売代理店へお問い合わせください。

- 1、ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
- 2、弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
- 3、ダウンロードサービスをご利用ください。
 - ・最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。
<https://www.dlink-jp.com/>

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてご確認の上、ご購入頂いた販売代理店へお問い合わせください。

- ・製品名
- ・お買い上げ年月日
- ・シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
- ・ご使用環境（OS、周辺機器など）
- ・エラーメッセージが表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。

Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。

弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。

弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2010 - 2018 ディーリンクジャパン株式会社